

古写真や絵画で見る 仙台歴史散策

若林城（古城）の朝鮮梅

仙台市博物館 学芸員 寺澤 慎吾

第2回

伊達政宗と朝鮮梅

朝鮮に出兵した伊達政宗が持ち帰り、晩年を過ごした若林城に植えたという朝鮮梅。地を這うような太く力強い幹や枝の様子から「臥龍梅」とも呼ばれます。現在は宮城刑務所構内となった地で、幹周一・三m、高さ約八m、枝張は東西十七m、南北二十二mという大きさを誇っています。

梅は、冬の厳しい寒さに耐えて凛とした花を咲かせます。そこから「高潔」「気品」といったイメージが生まれ、古来、蘭・竹・菊とともに「四君子」あるいは、「松竹梅」という吉祥の象徴などとして人々に愛されてきました。政宗も梅にまつわる和歌や漢詩をい



図1 菅井梅関筆 舊城朝鮮古梅之図 仙台市博物館蔵 (常設展) で展示予定 3/5/4/7に仙台市博物館

くつか詠んでいます。なかでも以下の詩は、朝鮮から持ち帰った梅について詠まれたものとして知られています。絶海行軍帰国日 鉄衣袖裏裏芳芽 風流千古余清操 幾歳閑看異域花 海を越えて持ち帰ってきた梅が時を経て成長し、政宗がそれを閑かな様子で眺め、過ぎし日の戦を思い出している光景が目に見えます。

菅井梅関が描いた朝鮮梅

政宗没後、若林城は廢城となり、その後、藩の御薬園（薬草園）が置かれ、この地は「古城」と呼ばれました。同地の朝鮮梅を墨で豪快に描いたのが、江戸時代後期に活躍した絵師・菅井梅関（一七八四―一八四四）です。

梅関は、仙台で生まれ、やがて江戸や京都、そして長崎まで出て絵を学びました。梅の絵を得意とし、生涯のうちに数多くの墨梅図を描いています。特に古城の朝鮮梅を描いた「舊（古）城朝鮮古梅之図」（図1）には、その圧倒的な迫力に誰しも目を見張ることでしょう。水気の



図2 宮城刑務所構内の朝鮮梅（昭和16年頃） 文部省編『天然記念物調査報告 植物之部 第二十輯』（文部省、1943年）より転載

多い筆で描かれた太い幹が湾曲しながら上へ上へと力強く伸びています。また、木肌の立体感や質感が、墨の濃淡と擦れた線によって見事に表現されており、梅関がこの墨梅図に込めた気迫が伝わってきます。

国の天然記念物指定

さて、この梅は昭和十七年（一九四二）九月十九日、その由緒正しさと、国内最大級の臥龍梅であることから、国の天然記念物に指定されました。当時の写真には、いくつもの太い幹や枝が縦横に伸び広がり、巨大な龍のような姿が写し出されています（図2）。その後、昭和五十一年（一九七六）の台風で主木が倒れてしまったものの、三株に分かれていた幹がまだ樹勢を保っています。なお、政宗が持ち帰った朝鮮梅から株分けしたと伝えられる梅は、仙台市の保存樹木に指定されるものだけでなく、西公園（青葉区）・柏木（青葉区・個人）・聖ウルスラ学院構内（若林区）の三か所に生育しています。

旬の常設展2018-2019 冬 「仙台藩五代藩主・伊達吉村」ほか 3月10日(日)まで

季節によって内容が変わる仙台市博物館の常設展は、訪れるたびに新しい発見があります。冬の展示は絵を得意とした五代藩主・伊達吉村に関する資料のほか、古くから景勝の地として知られた松島と塩竈の両名所を描いた、江戸時代の作品を特集して紹介しています（※）。このほかにも様々なテーマで資料を紹介しておりますので、ぜひご覧ください。 ※「描かれた松島と塩竈」の展示は3月3日まで

【常設展観覧】一般・大学生460円(360円)、高校生230円(180円)、小・中学生110円(90円) ※30名以上の団体は()内料金となります。このほか各種割引があります。 【開館時間】9:00~16:45(入館は16:15まで)



松島雨霽図(まつしまうせいず) 谷文晁筆 仙台市博物館蔵 (展示期間:1/22~3/3)

仙台市博物館 TEL:022-225-3074 ▶2月の休館日 月曜(11日は開館)、12日(火)

SENDAI CITY MUSEUM 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶ツイッター @sendai_shihaku ▶博物館HP 仙台市博物館

検索